



間欠型空気圧式マッサージ器
アイフロー IPC M15
取扱説明書

医療機器認証番号：225AIBZX00049000



スター・プロダクト株式会社

目次

1. 使用目的	1
2. 安全上の禁忌、警告、注意	1
3. 清掃	2
4. 廃棄	2
5. シンボル説明	2
6. 各部の名称とガーメントの種類	3
7. 使用手順	5
8. アラーム機能	6
8.1 CP アラーム	6
8.2 OP アラーム	6
8.3 LP アラーム	6
8.4 HP アラーム	6
8.5 バッテリー残量低下アラーム	6
9. バッテリー	7
9.1 交換方法	7
9.2 充電方法	7
10. 推奨の治療ガイドライン	8
11. 消耗品について	9
12. 電磁両立性 (EMC)	10
13. 故障かな?と思ったら	13
14. 仕様	14
15. 保証期間とアフターサービス	15
15.1 保証について	15
15.2 アフターサービスについて	15
16. 保証規定と保証書	16

1. 使用目的

ケアメドサプライ社製 間欠型空気圧式マッサージ器 アイフロー IPC M15（以下、本装置）は、間欠的空気圧迫法により生命の危機を左右しうる肺塞栓症（PE）を引き起こす可能性のある深部静脈血栓（DVT）の発生率を低下させるための装置です。

本装置は、空気圧迫に必要なエアポンプと柔軟性のあるガーメント（脚部、足底部）で構成されています。

脚部では 5.3kPa（40mmHg）、足底部では 10.7kPa（80mmHg）の圧力で設定し、予め設定されたサイクル（加圧：12 秒→減圧：48 秒）で作動します。

エアポンプから送られる空気でガーメントが膨張することにより、装着部に圧をかけて血液を押し上げ、うっ滞を減少させます。これにより繊維素溶解を促し、凝血形成のリスクを減少させます。

2. 安全上の禁忌、警告、注意

禁忌
下記の症状のある患者には本装置を使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none">・ 深部静脈血栓症・ 肺塞栓症・ 肺水腫・ うっ血性心不全・ 重度の動脈硬化症または虚血性血管疾患・ 血栓性静脈炎・ 未治療の感染症・ ガーメントが装着できない場合（疼痛、静脈の縫合・結紮後、壊疽、皮膚移植直後、極度の変形）
本装置を MRI 環境で使用しないでください。

警告
本装置は医師の指示のもとでご使用ください。 また、ご使用中に異変が見られた場合にはすぐにご使用を中止してください。
感電の危険がありますので、本装置をバッテリー交換以上に分解しないでください。
故障の場合には現場での分解を行わず、資格のある専門業者に修理をご依頼ください。
火災の危険がありますので、異なるヒューズを使用しないでください。
電氣的に危険性が生じる恐れがありますので、アースは必ず接続してください。
バッテリーを分解したり、火の中に投げ入れたり、ショートさせないでください。 電解液漏れや爆発など、人体に重大な傷害を受ける恐れがあります。
バッテリーはリチウムイオン充電電池を使用していますので、廃棄の際は各自治体の指示に従ってください。 不当な廃棄を行うと人体や環境に重大な影響を及ぼす恐れがあります。
バッテリーの残量が不足して電源が切れた場合には、その状態で無理に電源を入れ直さないでください。 バッテリーや本体が故障する恐れがあります。

注意
本装置をご使用になる前には、必ず取扱説明書をよくお読みください。
本装置に液体をかけたり液体に浸さないでください。
本体外装は ABS 樹脂ですので、アルコールなどの有機溶剤やフェノール類を含む洗剤を使用しないでください。また、ガーメントは単回使用の消耗品ですので、洗濯などの清掃はしないでください。
ガーメントの膨張中に本体との接続部を外さないでください。 接続部の損傷や本体の故障を起こす恐れがあります。
本装置のパーツや付属品は専用品以外に使用しないでください。
本体のバッテリー装填部分には、専用バッテリーまたはダミーバッテリーを必ず取り付けてください。

3. 清掃

本体：

清掃が必要な場合には、1000ppm（0.1%）に希釈した塩素系漂白剤をつけた柔らかい布で拭き取ってください。清掃後は乾いた布で拭き取るか、自然乾燥をしてください。

本装置の外装はABS樹脂ですので、アルコールなどの有機溶剤やフェノール類を含む洗浄剤を使用しないでください。また、液体には決して浸さないでください。

ガーメント：

ガーメントは単回使用の消耗品ですので洗濯などの清掃は行えませんが、使用前のエチレンオキサイドガス滅菌（ETO 滅菌）は可能です。ETO 滅菌後は、残留ガスにご注意ください。

4. 廃棄

本装置は、WEEE 指令に準じた環境保護に関して意識した製造業者から供給されています。

本装置が違法に廃棄された場合には環境に有害な影響を及ぼす恐れがありますので、適切なりサイクル施設で廃棄をご依頼ください。

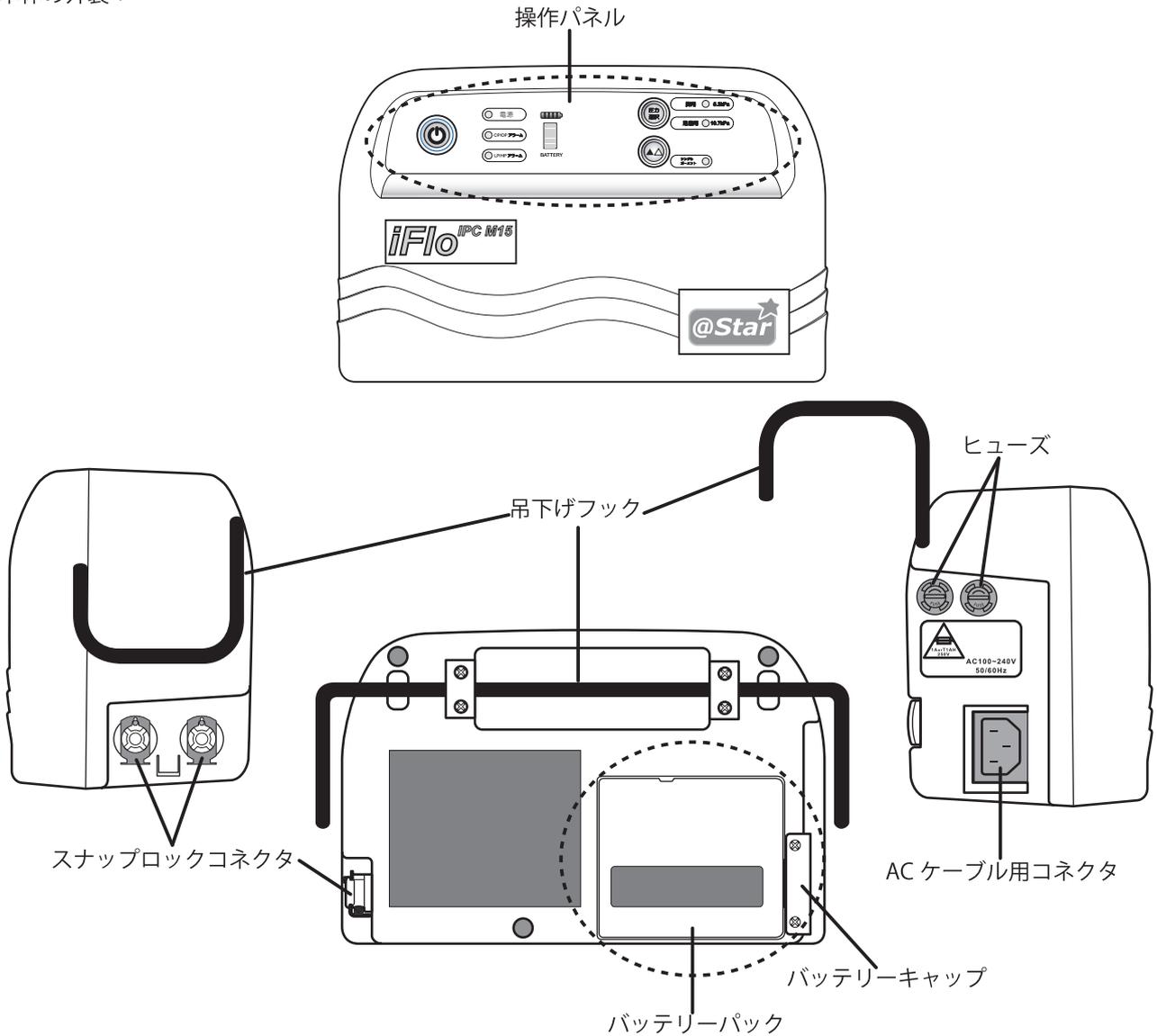


5. シンボル説明

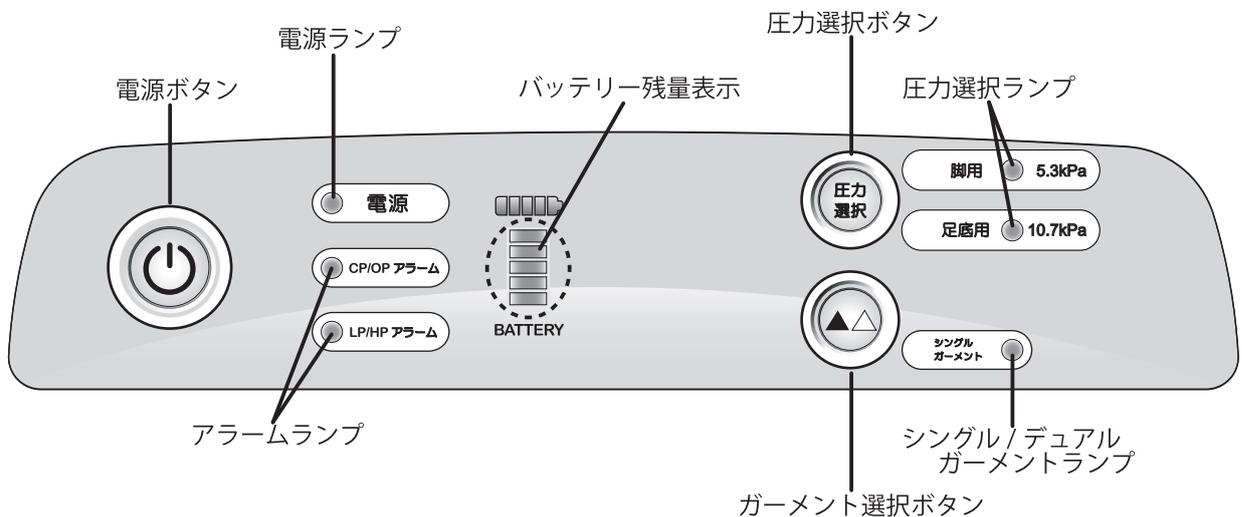
シンボル	説明
	電撃に対する保護の程度：BF 形装着部
	取扱説明書を参照
	禁忌、警告、注意
	電気及び電子機器の個別回収を示す（WEEE 指令）

6. 各部の名称とガーメントの種類

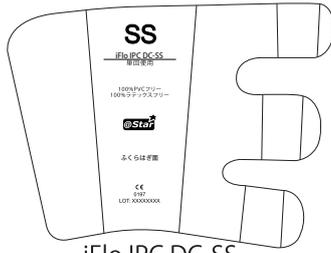
本体の外装：



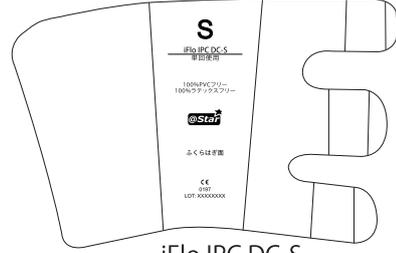
本体の操作パネル：



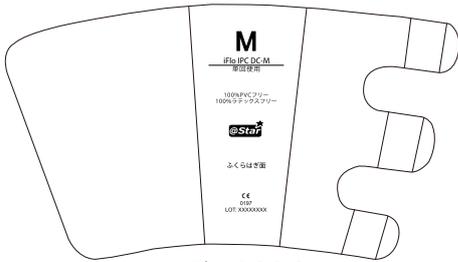
ガーメントの種類：



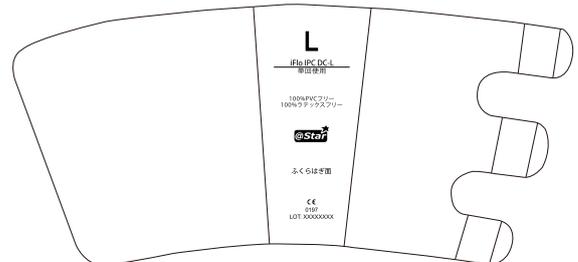
iFlo IPC DC-SS
アイフロー IPC ガーメント 脚用 (下腿) SS



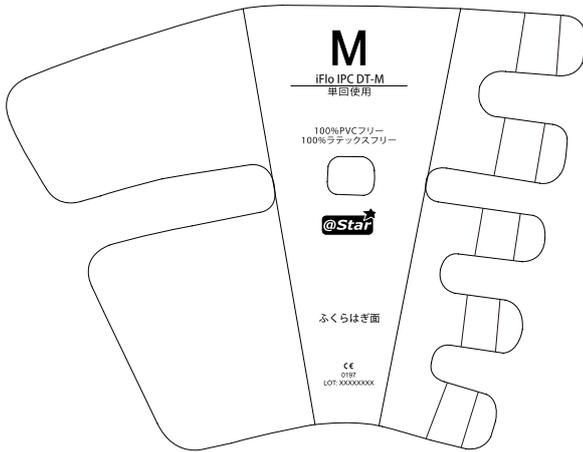
iFlo IPC DC-S
アイフロー IPC ガーメント 脚用 (下腿) S



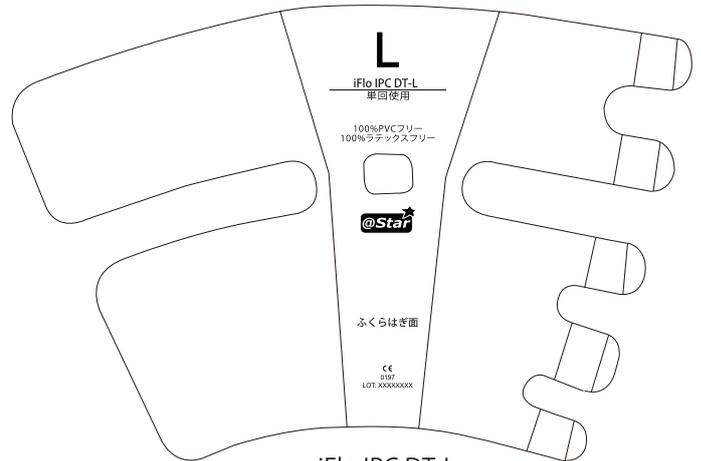
iFlo IPC DC-M
アイフロー IPC ガーメント 脚用 (下腿) M



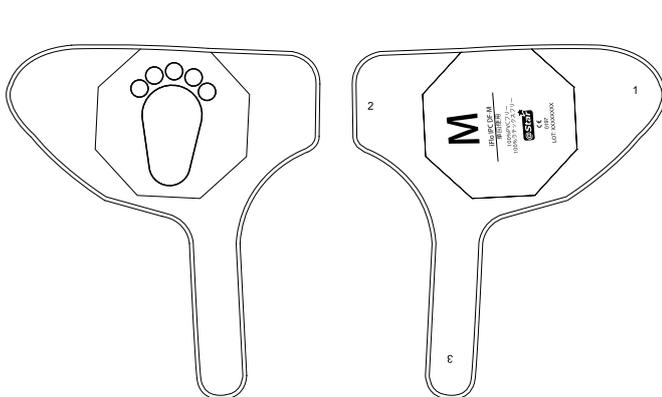
iFlo IPC DC-L
アイフロー IPC ガーメント 脚用 (下腿) L



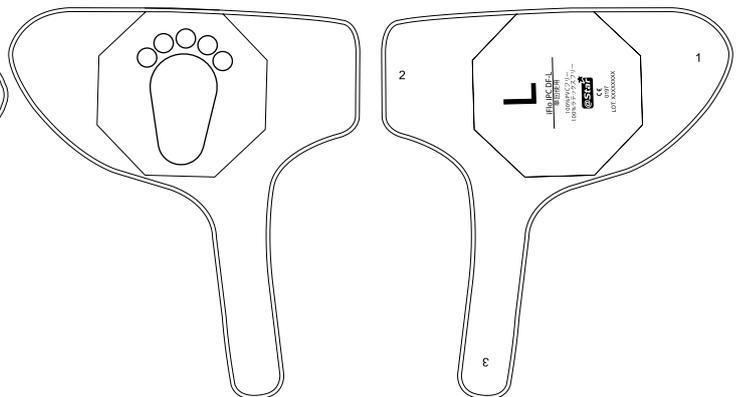
iFlo IPC DT-M
アイフロー IPC ガーメント 脚用 (大腿・下腿) M



iFlo IPC DT-L
アイフロー IPC ガーメント 脚用 (大腿・下腿) L



iFlo IPC DF-M
アイフロー IPC ガーメント 足底用 M



iFlo IPC DF-L
アイフロー IPC ガーメント 足底用 L

各ガーメントにはチューブが付きます。

ガーメントおよびチューブにはラテックスおよび PVC を使用しておりません。

ガーメントは単回使用の消耗品ですので洗濯などの清掃は行えませんが、使用前のエチレンオキサイドガス滅菌 (ETO 滅菌) は可能です。ETO 滅菌後は、残留ガスにご注意ください。

保管時は、直射日光を避け涼しい場所に置いてください。(推奨環境 温度：5～60℃、湿度：30～75%)

7. 使用手順

本装置はシンプルな設計で、操作が容易に行えます。

ご使用方法は以下の手順に従ってください。

- ① パッケージから本体とガーメントを取り出し、本体の AC コードをコンセントに接続します。
- ② 本体を平らな場所あるいは本体背面のフックを使用してベッドサイドに設置します。
- ③ ガーメントのパッケージ内の取扱説明書に従い、開いた状態で適用する部位に合わせます。
- ④ ガーメントのエアバッグが正しい位置にあるかをよく確認して巻きつけます。この時に、きつく巻きつけ過ぎないように注意してください。

巻きつけの目安：成人の人差し指と中指の2本が挿し込める程度

- ⑤ ガーメント側のチューブコネクタ（オス）を本体側のコネクタ（メス）へ接続します。本体側のコネクタはスナップロックコネクタを使用していますので、完全にロックがされることを確認してください。
- ⑥ ガーメントの巻きつけ状態やチューブコネクタの接続状態をよく確認の上、本体の電源を入れます。

注釈：

電源を入れると自動的に初期状態である脚用ガーメントの設定（5.3kPa）になります。足底用ガーメントの設定（10.7kPa）に変更する場合には、電源を入れてから 10 秒以内に圧力選択ボタンを 5 秒間押し続けてください。10 秒以上経過した場合には、電源を入れ直してください。また、シングルガーメントの設定に変更する場合はガーメント選択ボタンを 5 秒間押し続けてください。再び 5 秒間押し続けることで解除できます。シングルガーメントを選択した場合は、2つのスナップロックコネクタの内のどちらか片方だけに接続してください。2つとも接続した場合には初期状態同様その両方が作動しますが故障ではありません。

- ⑦ 本体は自動的に決められたサイクル（加圧：12 秒⇄減圧：48 秒）を繰り返します。
- ⑧ 使用を終了する場合には電源ボタンを長押しして電源を切り、AC コードをコンセントから外します。
- ⑨ ガーメントのチューブコネクタと本体の接続を外す場合には、スナップロックコネクタの銀色のタブを上押し上げてロックを解除し、ガーメントのチューブコネクタを引き抜きます。

禁忌：

- 下記の症状がある、またはその疑いがある患者には本装置を使用しないでください。
 - 深部静脈血栓症
 - 肺塞栓症
 - 肺水腫
 - うっ血性心不全
 - 重度の動脈硬化症または虚血性血管疾患
 - 血栓性静脈炎
 - 未治療の感染症
 - ガーメントが装着できない場合（疼痛、静脈の縫合・結紮後、壊疽、皮膚移植直後、極度の変形）
- 本装置を MRI 環境で使用しないでください。



警告：

- 本装置は医師の指示のもとでご使用ください。また、ご使用中に異変が見られた場合にはすぐにご使用を中止してください。
- 電氣的に危険性が生じる恐れがありますので、アースは必ず接続してください。
- バッテリーの残量が不足して電源が切れた場合には、その状態で無理に電源を入れ直さないでください。バッテリーや本体が故障する恐れがあります。



注意：

- シングルガーメントでご使用頂く場合には本体側の接続する箇所にご注意ください。
- ガーメントの拡張中に本体との接続部を外さないでください。接続部の損傷や本体の故障を起こす恐れがあります。
- 本装置のパーツや付属品は専用品以外に使用しないでください。



8. アラーム機能

本装置のアラーム機能は以下の通りです。

8.1 CP アラーム

CP (Consecutive Pressure) アラームは、CP/OP アラームランプが点滅してアラーム音が鳴ります。このアラームは、本装置からガーメントに加える空気の圧が連続的に加わっている場合に発生し、動作を停止してアラーム状態が継続します。

本装置を数回再起動してもアラームが発生する場合には故障の可能性があります。修理のご依頼はご購入頂きました販売店にご相談ください。



8.2 OP アラーム

OP (Over Pressure) アラームは、CP/OP アラームランプが点灯してアラーム音が鳴ります。このアラームは、本装置からガーメントに加える空気の圧を設定値を超えて加わっている場合に発生し、動作を停止してアラーム状態が継続します。

本装置を数回再起動してもアラームが発生する場合には故障の可能性があります。修理のご依頼はご購入頂きました販売店にご相談ください。



8.3 LP アラーム

LP (Low Pressure) アラームは、LP/HP アラームランプが点滅してアラーム音が鳴ります。このアラームは、本装置からガーメントに加える空気の圧が低い場合に発生し、この状態が改善されるまでアラーム状態が継続します。この場合には、本装置からガーメントまでの接続が確実にされているか、チューブやガーメントなどからの空気漏れが無いが、本装置の圧設定とガーメントの組み合わせが正しいかを確認してください。

各部の確認をしても異常が無く、本装置を数回再起動してもアラームが発生する場合には故障の可能性があります。

修理のご依頼はご購入頂きました販売店にご相談ください。



8.4 HP アラーム

HP (Hight Pressure) アラームは、LP/HP アラームランプが点滅してアラーム音が鳴ります。このアラームは、本装置からガーメントに加える空気の圧が高い場合に発生し、この状態が改善されるまでアラーム状態が継続します。この場合には、本装置と接続しているガーメントの組み合わせが正しいか、エアチューブなどに流れの妨げとなる箇所が無いかを確認してください。

各部の確認をしても異常が無く、本装置を数回再起動してもアラームが発生する場合には故障の可能性があります。

修理のご依頼はご購入頂きました販売店にご相談ください。



8.5 バッテリー残量低下アラーム

バッテリー残量がある一定のレベルまで低下するとアラームが発生します。このアラームは、バッテリーでの稼働限界まで約 15 分であることを意味しますので、速やかに AC コードをコンセントに接続し、充電してください。

注釈：

電源を入れる前の状態でバッテリー残量がある一定のレベルまで低下している場合、電源を入れたときにアラームが作動し、約 5 秒後に電源が切れます。この場合には電源を無理に入れ直さずに速やかに充電してください。

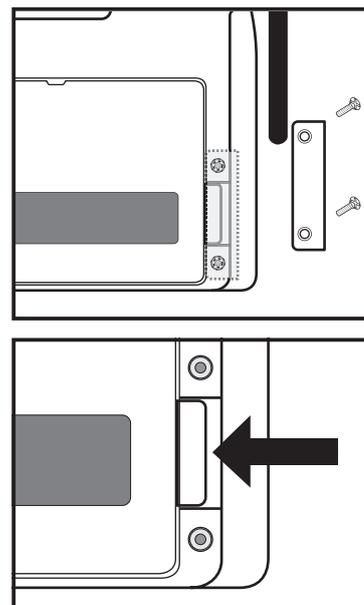
9. バッテリー

9.1 交換方法

本装置には専用バッテリーまたはダミーバッテリーが付属されています。

交換は以下の手順に従ってください。

- ① バッテリーキャップのネジをプラスドライバーで外します。
- ② バッテリーの右側にあるラッチを左に押し外し、バッテリーを取り出します。
- ③ 交換用のバッテリーをはめ込む際には左側で合わせた後、右側のラッチがロックされるまで押し込んでください。
- ④ バッテリーキャップのネジを締めます。
- ⑤ 動作の確認をして終了です。



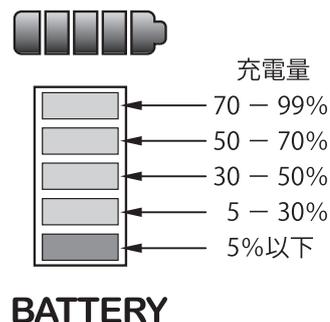
9.2 充電方法

本体に専用バッテリーを装填している場合には、ACコードをコンセントに接続すると自動的に充電を開始します。

充電の状態はバッテリー残量表示で確認でき、充電中は充電量に応じたLEDバーが点滅します。

バッテリーの満充電にかかる時間は最大で16時間を必要とします。

また、満充電からの稼働時間はゲームの種類にもよりますが約6時間です。(ご使用年数や劣化の度合い、環境温度により変化します)



警告：

- 感電の危険がありますので、本装置をバッテリー交換以上に分解しないでください。
- バッテリーを分解したり、火の中に投げ入れたり、ショートさせないでください。液漏れや爆発など、人体に重大な傷害を受ける恐れがあります。
- バッテリーはリチウムイオン充電電池を使用していますので、廃棄の際は各自治体の指示に従ってください。不当な廃棄を行うと人体や環境に重大な影響を及ぼす恐れがあります。

注意：

- 本装置のパーツや付属品は専用品以外に使用しないでください。
- 本体のバッテリー装填部分には、専用バッテリーまたはダミーバッテリーを必ず取り付けてください。

10. 推奨の治療ガイドライン

EPC（外部空気圧迫法）は、DVT を発生させる危険因子に 2 つ以上（中リスク～高リスク）当てはまる患者のために設計されています。下記の表は、DVT の発生率を上昇させることで知られている危険因子の表です。

これらの危険因子は、特に明記されていない限り 1 点として数えられます。

治療で適用される脚部 5.3kPa（40mmHg）と足底部 10.7kPa（80mmHg）のガーメントの圧力は治療に適切な圧力と立証され、本機器に設定されています。

このガイドラインは、全ての症例で臨床的な判断や経験に代わるものではありません。

危険因子表

<input type="checkbox"/> 年齢が 40 ～ 60 歳	<input type="checkbox"/> 妊婦または出産後 1 ヶ月未満
<input type="checkbox"/> 年齢が 60 ～ 70 歳（2 点）	<input type="checkbox"/> 癌または悪性腫瘍
<input type="checkbox"/> 年齢が 70 歳以上（3 点）	<input type="checkbox"/> エストロゲンまたはホルモン治療
<input type="checkbox"/> DVT または PE の既往歴（3 点）	<input type="checkbox"/> 敗血症または感染症
<input type="checkbox"/> 寝たきり	<input type="checkbox"/> 腸炎症
<input type="checkbox"/> 肥満（標準体重より 20%以上）	<input type="checkbox"/> 脳卒中
<input type="checkbox"/> 30 分以上の手術	<input type="checkbox"/> 凝固亢進状態：プラスミノーゲン傷害
<input type="checkbox"/> 骨盤、人工関節置換術	<input type="checkbox"/> プロテイン S、C、アンチトロンビン欠乏
<input type="checkbox"/> 心筋梗塞	<input type="checkbox"/> 外傷
<input type="checkbox"/> うっ血性心不全	<input type="checkbox"/> 大手術歴
<input type="checkbox"/> 骨盤、長骨の骨折歴	<input type="checkbox"/> うっ滞、浮腫、潰瘍
<input type="checkbox"/> 慢性閉塞性肺疾患	<input type="checkbox"/> 下肢静脈瘤

当てはまる危険因子の合計が 0 ～ 1 点：低リスク、2 ～ 4 点：中リスク、4 点以上：高リスク

Moser KM: Pulmonary thromboembolism - Your challenge is prevention. The Journal of Respiratory Diseases
Volume 10 Number 10, October 1989.

本製品を使用する場合には、臨床効果を得るために塞栓防止圧のない靴下類が必要です。

**患者が足に痛みを感じたり、ヒリヒリしたり、感覚を失った場合には
本装置の使用を直ちに中止して医師の診察を受けてください。**

11. 消耗品について

本装置に使用できるガーメントとバッテリーは次の通りです。

ご注文は、本装置をご購入頂きました販売代理店までお問い合わせください。

ガーメント：

品番	品名	サイズ
iFlo IPC DC-SS	アイフロー IPC ガーメント 脚用（下腿）SS	下腿周径約 11cm～約 44 cm まで
iFlo IPC DC-S	アイフロー IPC ガーメント 脚用（下腿）S	下腿周径約 14.5cm～約 50 cm まで
iFlo IPC DC-M	アイフロー IPC ガーメント 脚用（下腿）M	下腿周径約 14.5cm～約 60 cm まで
iFlo IPC DC-L	アイフロー IPC ガーメント 脚用（下腿）L	下腿周径約 14.5cm～約 73 cm まで
iFlo IPC DT-M	アイフロー IPC ガーメント 脚用（大腿・下腿）M	大腿周径約 28cm～約 76 cm まで
iFlo IPC DT-L	アイフロー IPC ガーメント 脚用（大腿・下腿）L	大腿周径約 28cm～約 90 cm まで
iFlo IPC DF-M	アイフロー IPC ガーメント 足底用M	足長約 19cm～約 29.5 cm まで
iFlo IPC DF-L	アイフロー IPC ガーメント 足底用L	足長約 21 cm 以上

補充品：

品番	品名
iFlo IPC BP	アイフロー IPC M15 用バッテリーパック
iFlo IPC CT	アイフロー IPC M15 用接続チューブ（2本/袋）

12. 電磁両立性 (EMC)

電子機器は電磁波に影響されます。

影響を受けやすい機器は、電磁波を発する機器から最低でも1メートル離すことを推奨しています。

以下は EMC についての詳しい情報です。

携帯型や移動型の RF 発信機器と本装置との推奨分離距離			
本装置は、放射されている RF 障害のコントロールが可能な電磁環境下で使用されます。本装置の使用者は、携帯型や移動型の RF 送信機器（発信器）と下記表に推奨される本装置の通信機器の最大出力に従って、機器間の最小距離を維持することにより、電磁干渉を防ぐことができます。			
発信器の最大出力定格 (W)	発信器の周波数による分離距離		
	150kHz ~ 80MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80MHz ~ 800MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800MHz ~ 2.5GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23
上表の最大出力電力定格に評価されている発信器では、推奨分離距離 (m) は、発信器の周波数に適した方程式で推定されます。P は発信器製造業者による発信器の最大出力定格 (W) です。			
注釈：			
1. 80MHz から 800MHz では、より高い周波数領域が適応されます。			
2. これらのガイドラインは全ての状況下に適応できるものではありません。電磁伝搬は建物や物、人による吸収や反射によって影響を受けます。			

項目 1 電磁波放射に関する指針および製造業者の宣言文		
本装置は下記に示す電磁環境下で使用するためのものです。		
顧客もしくは本装置の使用者は、それぞれの環境下で使用されているか確認しなければなりません。		
放射試験	適合	電磁波環境 - 指針
高周波エミッション CISPR 11	Group 1	本装置は、内部機能にのみ高周波エネルギーを使用します。したがって、高周波放射量はとても低く、近くの電子機器に干渉を及ぼしません。
高周波エミッション CISPR 11	Class B	本装置は、国内の建物および国内で使用することを目的に作られた建物向けの公共の低電圧電気供給ネットワークに接続する、あらゆる建物の中で使用できます。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	Class A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適応	

項目 2 電磁環境耐性に関する指針および製造業者の宣言文

本装置は下記に示す電磁環境下で使用するためのものです。

顧客もしくは本装置の使用者は、それぞれの環境下で使用されているか確認しなければなりません。

耐性試験	IEC 60601 試験水準	適合水準	電磁環境 - 指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	接触放電：± 6kV 気中放電：± 8kV	接触放電：± 6kV 気中放電：± 8kV	床は木製、コンクリートもしくはセラミックタイルとし、合成材が敷設されている場合には、相対湿度を 30% 以上にしてください。
電気的高速過渡現象 / バースト IEC 61000-4-4	電源ライン：± 2kV 入出力ライン：± 1kV	電源ライン：± 2kV 入出力ライン：± 1kV	主電源は一般的な商業用または医療用のものを使用してください。
サージ IEC 61000-4-5	ライン-ライン間：± 1kV ライン-アース間：± 2kV	ライン-ライン間：± 1kV ライン-アース間：± 2kV	主電源は一般的な商業用または医療用のものを使用してください。
電源入力ラインの電圧ディップ、瞬停および電圧変動 IEC 61000-4-11	0.5 周期：< 5% U_T (U_T にて>95% 降下) 5 周期：40% U_T (U_T にて 60% 降下) 25 周期：70% U_T (U_T にて 30% 降下) 5 秒：< 5% U_T (U_T にて>95% 降下)	0.5 周期：< 5% U_T (U_T にて>95% 降下) 5 周期：40% U_T (U_T にて 60% 降下) 25 周期：70% U_T (U_T にて 30% 降下) 5 秒：< 5% U_T (U_T にて>95% 降下)	主電源は一般的な商業用または医療用のものを使用してください。 停電中に本装置を継続使用する必要がある場合は、無停電電源装置 (UPS) またはバッテリーでの稼働をお勧めします。
電力周波数磁界 (50/60Hz) IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、一般的な商業用または医療用並みのレベルにしてください。

注釈： U_T は、試験レベル適用前の AC 電源電圧です。

項目3 電磁環境耐性に関する指針および製造業者の宣言文

本装置は下記に示す電磁環境下で使用するためのものです。

顧客もしくは本装置の使用者は、それぞれの環境下で使用されているか確認しなければなりません。

耐性試験	IEC 60601 試験水準	適合水準	電磁環境 - 指針
RF 伝導妨害 IEC 61000-4-6	3Vrms 150kHz ~ 80MHz	3Vrms	<p>携帯型や移動型の RF 送信機器（発信器）は、ケーブル類も含めて、送信機器の周波数に適合した方程式から計算された推奨分離距離より本装置に近づけないでください。</p> <p>推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$</p> <p>80MHz ~ 800MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$</p> <p>800MHz ~ 2.5GHz $d = 1.2 \sqrt{P}$</p>
放射無線周波磁界 IEC 61000-4-3	3Vrms 80MHz ~ 2.5GHz	3V/m	<p>Pは、送信機の製造業者による送信機の最大出力定格（W）であり、dは推奨分離距離（メートル）です。</p> <p>電磁環境の現場調査を基にした固定無線周波送信機の電界強度は、各周波数領域の適合レベル以下にしてください。</p> <p>このマークが付いた機器の付近では、電磁干渉が起きる可能性があります。</p>

注釈：

1. 80MHz から 800MHz では、より高い周波数領域が適応されます。
2. これらのガイドラインは全ての状況下に適応できるものではありません。電磁伝搬は建物や物、人による吸収や反射によって影響を受けます。

携帯電話の基地局や陸上移動無線、アマチュア無線、AM/FM ラジオ局、TV 局などの固定された送信機からの磁場強度は、正確に予測することはできません。

固定された無線周波送信機による電磁環境を査定するには、電磁環境に関する現場調査を行う必要があります。調査により、本装置が使用される場所の磁場強度が適用可能な RF 適合レベルを越している場合は、本装置は正常に動作するか注意して確認する必要があります。

もし異常動作が確認された場合は、本装置の定位方向や位置の移動など追加処置が必要となることがあります。150kHz ~ 80MHz を超える周波数帯域では、磁場強度を 3V/m 未満にしてください。

13. 故障かな？と思ったら

故障と思われるときには、以下の内容をご確認ください。

症状	ご確認ください内容	対処方法
電源が入らない	ACコードが外れていませんか？	ACコードの本体側接続部とコンセントプラグ側接続部を確認してください。
	コンセントに電気がきていますか？	異なる場所のコンセントに差し替えてください。 延長コードなどをご使用の場合には、その先がコンセントに接続されていることを確認してください。
	ヒューズが切れていませんか？	同等のヒューズに交換してください。
	バッテリーの充電がされていますか？	バッテリーの充電をしてください。充電時間は最大で16時間です。 バッテリー残量のない状態で長期間保管されますとバッテリーが著しく劣化することがありますので、充電をしても残量が増加しない場合には交換用バッテリーをお求めください。
	バッテリーが取り外されていませんか？	バッテリーを取り付けてください。
ゲーメントが膨らまない または空気がすぐに抜ける	ゲーメントと本体の接続部が外れていませんか？	ゲーメントのチューブコネクタを本体のスナップロックコネクタが完全にロックするまで挿し込んでください。
	(シングルゲーメントでご使用の場合) 本体側の接続する箇所を間違えていませんか？	正しい箇所に接続してください。
	ゲーメントのチューブによじれや折れなどの閉塞している箇所はありませんか？	ゲーメントのチューブが閉塞しないようにしてください。
	ゲーメントに損傷はありませんか？	新しいゲーメントに交換してください。
アラームが鳴る / アラームランプが点滅・点灯する	ゲーメントと本体の接続部が外れていませんか？	ゲーメントのチューブコネクタを本体のスナップロックコネクタが完全にロックするまで挿し込んでください。
	患者に適したゲーメントを使用されていますか？	患者に適したゲーメントに交換してください。
	ゲーメントのエアバックが適切な位置になるように装着されていますか？	ゲーメントのパッケージ内にある使用説明を確認し、正しく装着してください。
	バッテリーの充電がされていますか？	バッテリーの充電をしてください。充電時間は最大で16時間です。 バッテリー残量のない状態で長期間保管されますとバッテリーが著しく劣化することがありますので、充電をしても残量が増加しない場合には交換用バッテリーをお求めください。
	—————	電源を入れ直してください。

以上の内容をご確認いただいても状態が改善されない場合には、ご購入頂きました販売店へご相談ください。

14. 仕様

寸法	H 15.5 × W 24 × D 11.5cm
重量	2kg (ACコードを除く)
圧力設定	5.33kPa (40mmHg)、10.66kPa (80mmHg) [誤差 ± 10%]
電源	AC100 ~ 240V、50/60Hz、0.4A ~ 0.2A リチウムイオンバッテリー 定格 14.4V 2200mAh 最大充電時間：16 時間 バッテリーでの最大駆動時間：6 時間 満充電での保管時間：約 840 時間
ヒューズ	1A または T1AH250V
機器の分類	電撃に対する保護の形式：クラス I / 内部電源機器 電撃に対する保護の程度：BF 形装着部
クラス分類	クラス II
操作環境 (温度, 湿度, 気圧)	15 ~ 35°C, 30 ~ 75% RH (ただし結露のないこと), 75 ~ 106kPa
保管・運搬環境 (温度, 湿度)	5 ~ 60°C, 30 ~ 75% RH (ただし結露のないこと)
加圧・減圧サイクル	加圧：12 秒 ± 10%、減圧：48 秒 ± 10%
表示ランプ	〔電源ランプ〕 AC 電源使用時：緑色、バッテリー使用時：黄色 〔CP/OP アラームランプ〕 圧持続時：黄色点滅、圧超過時：黄色点灯 〔LP/HP アラームランプ〕 低圧時：黄色点滅、高圧時：黄色点灯 〔バッテリー残量表示〕 LED バーによるレベル表示
アラーム	圧持続、圧超過、低圧、高圧、バッテリー残量低下時に作動

15. 保証とアフターサービス

15.1 保証について

保証期間：

保証期間は、本装置のご購入日から1年間です。(保証の内容について、詳しくは保証規定をご覧ください)

ただし、本体を除くバッテリーパック、接続チューブ、ガーメントは消耗品ですので、保証の対象外とさせていただきます。

万一、ご購入直後に付属品の不足などがありましたら、ご購入頂きました販売店へお問い合わせください。

15.2 アフターサービスについて

修理のご依頼について：

出張修理を行っておりませんので、故障の際にはご購入頂きました販売店へ修理依頼と共に機器をお渡してください。

保証期間中の故障につきましては、記入済みの保証書をコピーし装置に添付してください。保証書の添付がない場合には有償修理とさせていただきますので予めご了承ください。

修理後には修理後の保証を示す「修理・点検保証カード」を添付してご返却いたします。

修理後の保証について：

修理後は3ヶ月の修理保証をいたします。

修理後3ヶ月以内に同一の故障が発生した場合には、無償にて修理いたします。

ただし、修理後3ヶ月以内に発生した故障が下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。

記

1. 使用上の不注意による故障ならびに損傷
2. 当社もしくは当社指定機関以外による調整、修理、改造などに起因する故障ならびに損傷
3. 天災、震災などの不測の出来事による故障ならびに損傷
4. 消耗品ならびに自然減耗部品の補充
5. 修理完了後の輸送、移動、落下による故障並びに損傷
6. 修理・点検保証カードの記入欄に記入がない場合ならびに記入内容に不審な点がある場合や不当に書き換えられた場合
7. 修理保証中の修理依頼時に修理・点検保証カードを提出しなかった場合
8. その他の当社の責によらない故障並びに損傷

保守点検について：

保守点検の方法につきましては、本装置の添付文書をご覧ください。

本装置の保守に関する契約をご検討のお客様は、販売店へご相談ください。

保守部品の保有期間：

本装置の機能を維持する部品、付属品、消耗品は、本製品の販売終了から5年保有しています。

ただし、世界情勢の大きな変化や製造上の理由などやむを得ない事情により期間を短縮する場合もございます。

本製品が販売終了となったときには別途ご案内いたします。

16. 保証規定と保証書

保証規定：

保証期間中に、正常な使用状態のもとで発生した故障は無償で修理いたします。ただし、下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。本規定ならびに保証書は国内でのみ有効です。

記

1. 使用上の不注意による故障ならびに損傷
2. 当社もしくは当社指定機関以外による調整、修理、改造などに起因する故障ならびに損傷
3. 天災、震災などの不測の出来事による故障ならびに損傷
4. 消耗品ならびに自然減耗部品の補充
5. 納入後の輸送、移動、落下による故障並びに損傷
6. 保証書の記入欄に必要な事項の記入がない場合ならびに記入内容に不審な点がある場合や不当に書き換えられた場合
7. 記入済みの保証書を提出しなかった場合
8. その他の当社の責によらない故障並びに損傷

保証書

製品名	間欠型空気圧式マッサージ器 iFlo IPC M15
製造番号	
ご購入日	年 月 日
保証期間	ご購入日より1年間
お客様	お名前 (施設名)
	ご住所
	電話番号
販売店	会社名
	担当者名
	ご住所
	電話番号

保証書に記入をいただいた時点で、正常な本装置一式を受け取られ、本装置の保証内容に同意されたとみなします。

製造販売業者



スター・プロダクト株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-3
TEL (03)3812-6005 FAX(03)3812-6006

本取扱説明書は、より使いやすいものにするため、予告なく変更することがあります。
最新の取扱説明書は本装置をご購入頂きました販売店へお問い合わせください。

製造販売業者



スター・プロダクト株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-3
TEL (03)3812-6005 FAX(03)3812-6006